

## 平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月27日

上場会社名 株式会社コロプラ 上場取引所 東  
 コード番号 3668 URL http://colopl.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 功淳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部長 (氏名) 長谷部 潤 TEL 03(6721)7770  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績（平成27年10月1日～平成28年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	64,579	—	25,622	—	25,079	—	14,746	—
27年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 28年9月期第3四半期 14,706百万円（－％） 27年9月期第3四半期 一百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	118.98	114.93
27年9月期第3四半期	—	—

（注）平成28年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年9月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	68,032	56,240	82.6
27年9月期	—	—	—

（参考）自己資本 28年9月期第3四半期 56,175百万円 27年9月期 一百万円

（注）平成28年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年9月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	16.00	16.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期（予想）	—	—	—	17.00	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,500	—	33,500	—	33,000	—	18,000	—	145.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（注）平成28年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年9月期3Q	126,290,000株	27年9月期	124,886,000株
② 期末自己株式数	28年9月期3Q	1,912,890株	27年9月期	1,912,890株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年9月期3Q	123,937,943株	27年9月期3Q	123,351,877株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和等を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、急激な円高の進行や新興国、資源国等の景気下振れリスク等により先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの業界におきましては、株式会社MM総研の調査によると、平成27年9月末の我が国におけるスマートフォン契約数は7,237万件で、携帯電話端末契約数全体の56.9%まで達しており、平成30年度にはスマートフォン契約数が1億件を突破する見通しであるとされています。また、The Goldman Sachs Group, Inc.の調査によると、次世代のデバイスとして期待されるVR(仮想現実:Virtual Reality)デバイス及びその関連サービスの世界市場規模は、平成37年までに800億ドルに達すると予測されております。

当社グループにおきましては、スマートフォン向けの既存ゲームについてはユーザとのエンゲージメントを高めることを意識し、新規ゲームについてはその投入と立ち上げに注力してまいりました。また、VRを具現化するHMD端末(頭部装着型表示端末)向けサービスへの注力も進めており、様々な開発実験を行ってまいりました。

売上の多くを占めるオンライン型ゲームアプリでは、第3四半期連結累計期間に台湾・香港・マカオ向けに「バトルガール ハイスクール」を、国内向けに「激突!!Jリーグユニコンサッカー」「ドラゴンプロジェクト」の配信を開始いたしました。また、前々事業年度に配信を開始いたしました「白猫プロジェクト」や前事業年度に配信を開始いたしました「バトルガール ハイスクール」「東京カジノプロジェクト」といった既存タイトルも売上の拡大に寄与いたしました。

HMD端末向けサービスでは、Oculus Rift向けVRゲーム「Fly to KUMA」、「VR Tennis Online」の配信を開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は64,579,930千円、営業利益は25,622,167千円、経常利益は25,079,422千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は14,746,033千円となりました。

なお、当社グループにおける報告セグメントはモバイルサービス事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は58,472,592千円となりました。主な内訳は、現金及び預金47,510,596千円及び売掛金8,978,809千円となっております。

また、固定資産は9,560,197千円となりました。主な内訳は、投資その他の資産6,880,143千円及びのれん1,351,104千円となっております。

以上の結果、総資産は68,032,789千円となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は11,259,243千円となりました。主な内訳は、未払金4,571,062千円及び未払法人税等3,883,969千円となっております。

また、固定負債は532,708千円となりました。主な内訳は、資産除去債務415,453千円となっております。

以上の結果、負債合計は11,791,951千円となりました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は56,240,837千円となりました。主な内訳は、利益剰余金48,410,168千円となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結決算の開始に伴い、平成28年9月期の連結業績予想を開示しております。平成28年9月期の連結業績予想は、通期売上高85,500,000千円、営業利益33,500,000千円、経常利益33,000,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益18,000,000千円と予想しております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社の異動には該当しませんが、当第3四半期連結会計期間において、株式会社エイティングを取得し子会社化しております。

なお、当第3四半期連結会計期間より、株式会社インディゴゲームスタジオ、株式会社コロプラネクスト、株式会社リアルスタイル、株式会社ピラミッド、株式会社360Channel、コロプラネクスト2号ファンド投資事業組合及び株式会社エイティングの計7社を連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
 (平成28年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	47,510,596
売掛金	8,978,809
たな卸資産	265,748
その他	1,730,897
貸倒引当金	△13,459
流動資産合計	58,472,592
固定資産	
有形固定資産	1,204,293
無形固定資産	
のれん	1,351,104
その他	124,655
無形固定資産合計	1,475,760
投資その他の資産	6,880,143
固定資産合計	9,560,197
資産合計	68,032,789
負債の部	
流動負債	
未払金	4,571,062
未払法人税等	3,883,969
賞与引当金	149,985
その他	2,654,226
流動負債合計	11,259,243
固定負債	
資産除去債務	415,453
その他	117,254
固定負債合計	532,708
負債合計	11,791,951
純資産の部	
株主資本	
資本金	6,384,247
資本剰余金	6,381,011
利益剰余金	48,410,168
自己株式	△5,000,453
株主資本合計	56,174,973
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	913
その他の包括利益累計額合計	913
新株予約権	842
非支配株主持分	64,107
純資産合計	56,240,837
負債純資産合計	68,032,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	64,579,930
売上原価	27,880,482
売上総利益	36,699,447
販売費及び一般管理費	11,077,280
営業利益	25,622,167
営業外収益	
受取利息	9,763
有価証券利息	5,611
雑収入	3,849
営業外収益合計	19,224
営業外費用	
為替差損	559,142
雑損失	2,827
営業外費用合計	561,970
経常利益	25,079,422
特別損失	
関係会社株式評価損	209,906
特別損失合計	209,906
税金等調整前四半期純利益	24,869,516
法人税等	10,163,541
四半期純利益	14,705,974
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△40,058
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,746,033

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)	
四半期純利益	14,705,974
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,016
その他の包括利益合計	1,016
四半期包括利益	14,706,991
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	14,747,049
非支配株主に係る四半期包括利益	△40,058

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループにおける報告セグメントはモバイルサービス事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(公開買付けによる株式の取得)

当社は、平成28年3月30日開催の取締役会において、株式会社エイティング（以下、「対象者」といいます。）を当社の完全子会社とすることを目的として、対象者の普通株式の全てを公開買付けによって取得することを決議し実施してまいりました。平成28年4月27日をもって第一回公開買付けが、平成28年6月29日をもって第二回公開買付けが終了しております。

この結果、平成28年7月6日（第二回公開買付けの決済の開始日）をもって、当社は対象者の普通株式1,263,100株を追加取得いたしました。

なお、第一回公開買付け及び第二回公開買付けにおいて、対象者の普通株式の全てを取得できなかったことから、効力発生日を平成28年8月12日（予定）とする株式交換により対象者を完全子会社化する予定であります。

1. 対象者の概要

社名 : 株式会社エイティング  
所在地 : 東京都品川区南大井六丁目21番12号  
代表者 : 藤澤 知徳  
事業内容 : 各種ゲームコンテンツの企画・開発・運用  
資本金 : 210,351千円（平成28年3月31日現在）  
設立年月日 : 平成5年3月15日

2. 公開買付けの目的

当社及び対象者は、互いの事業に相互補完的なメリットがあり、双方が創業以来積み上げてきたノウハウや技術等の経営リソースを幅広く、深く融合させることで、対象者のみならず、当社グループの企業価値の向上に資することを目的としたものです。

3. 第二回公開買付け

買付期間 : 平成28年5月19日から平成28年6月29日まで  
買付価格 : 普通株式 1株につき金758円  
取得した株式数 : 1,263,100株  
追加取得後の株式所有割合 : 92.47%  
買付価額の総額 : 957百万円  
支払資金の調達方法及び支払方法 : 自己資金